
2012年3月期 第2四半期 決算説明会

2011年12月16日

日本輸送機株式会社

取締役社長 二ノ宮秀明

事業内容

国内初のバッテリー式フォークリフトを開発したニチユは、業界に先駆けて環境に配慮した保管・搬送技術の開発に着手。CO₂の排出を抑制し、省エネルギーを実現する保管・搬送機器をご提供することによって、お客さまの経営改善・環境改善に貢献してまいります。

国内フォークリフト事業

- ・バッテリーフォークリフト
- ・エンジンフォークリフト

海外事業

- ・バッテリーフォークリフト
- ・コンポーネント製品 他

物流システム事業

- ・中高層ラック用フォークリフトシステム
- ・無人搬送システム
- ・自動倉庫
- ・電動式移動棚システム
- ・自走台車
- ・モルレル(工作車) 他

その他事業

- ・巻取機
- ・床面清掃機
- ・床面洗浄機 他

セグメント別売上高(2011年9月期)

	売上高(百万円)	比率(%)
国内フォークリフト事業	27,738	69.0
海外事業	4,690	11.7
物流システム事業	6,179	15.4
その他事業	1,582	3.9
合計	40,191	100.0

※2011年3月期より報告セグメントを変更しております。

(設立)	1937年
(工場)	京都工場(年産14,000台)、滋賀工場 上海工場(年産3,300台)
(販売拠点)	国内 260ヶ所に販売・サービス拠点を設置 海外 シンガポール、マレーシア、タイ、インド、中国、香港、 オーストラリアに販売会社 アジア、中近東、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア他に 販売代理店

1

前年同期比増収・増益

2

海外事業が黒字化

3

物流システム事業の改善継続

1. 上期の経営環境

- 国内では、東日本大震災、原発事故に端を発した電力問題などの問題を抱えながらも、サプライチェーンの立ち直りや政策効果を背景に需要は回復し、前年同期を上回る水準へ
- 海外では、EU経済不安、北米の減速感が顕在化するとともに上期後半に急速な円高が進行
- 当社の主力市場である中国・アジアなどの新興国は成長を維持し、フォークリフト需要も堅調に推移

2. 連結損益計算書の概要

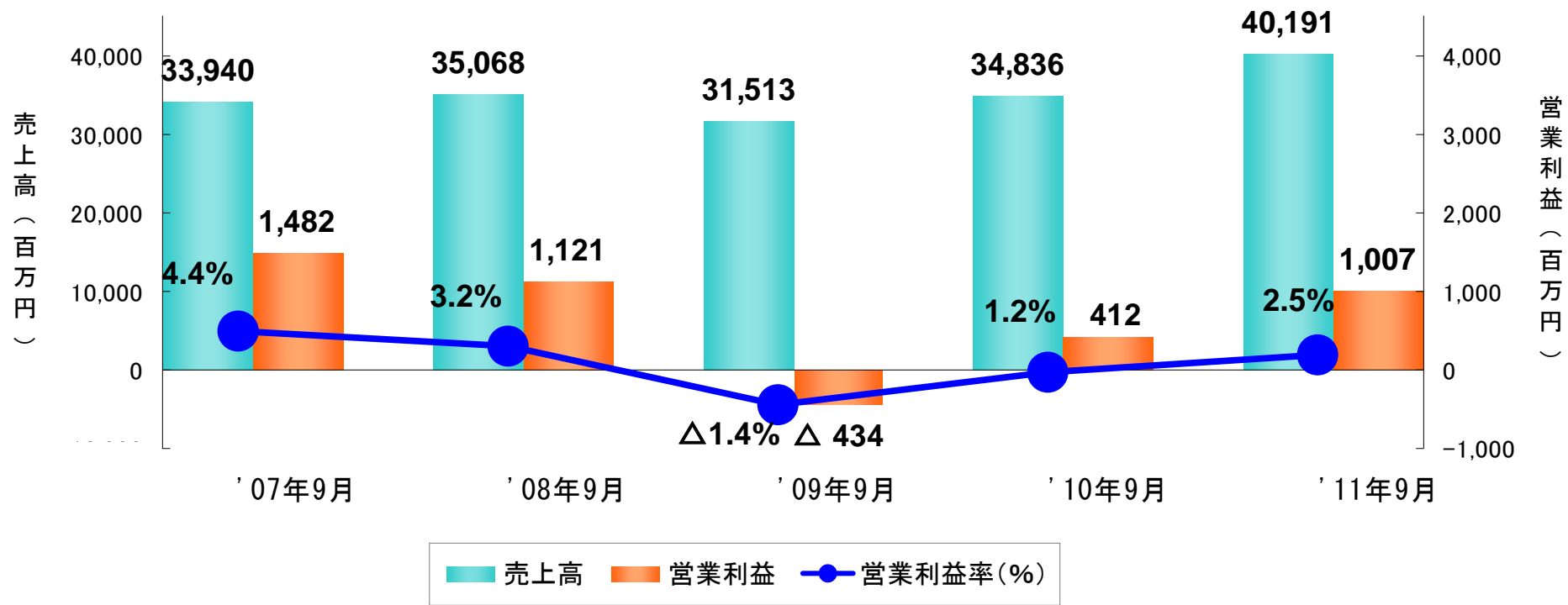
前年同期比で大幅な増益

単位: 百万円

	2010年9月期	2011年9月期	前年同期比増減	
売上高	34,836	40,191	5,355	15.4%
営業利益 (営業利益率)	412 (1.2%)	1,007 (2.5%)	595 (+1.3point)	144.2%
経常利益 (経常利益率)	378 (1.1%)	1,014 (2.5%)	636 (+1.4point)	167.8%
当期純利益	345	671	326	94.7%

3. 業績の推移

震災の影響や円高の中 売上400億円を突破

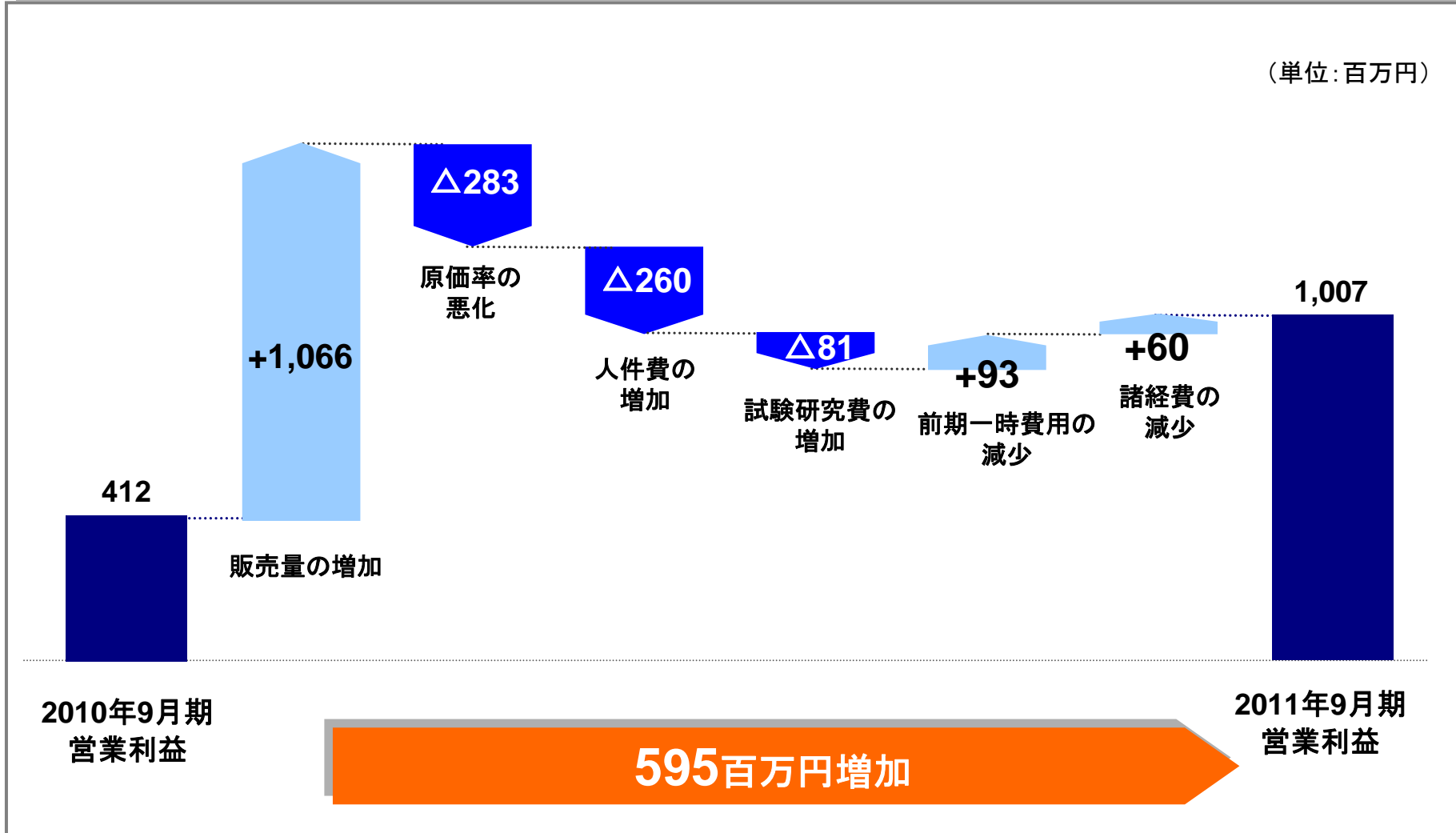


◆ 国内市場の回復、新興国市場の堅調な成長を背景に、連結売上高40,191百万円(前年同期比+15.4%)、同営業利益1,007百万円(同+144.2%)と増収・増益

4. 営業利益の増加要因

販売量の大幅増加と経費抑制により利益増

(単位: 百万円)

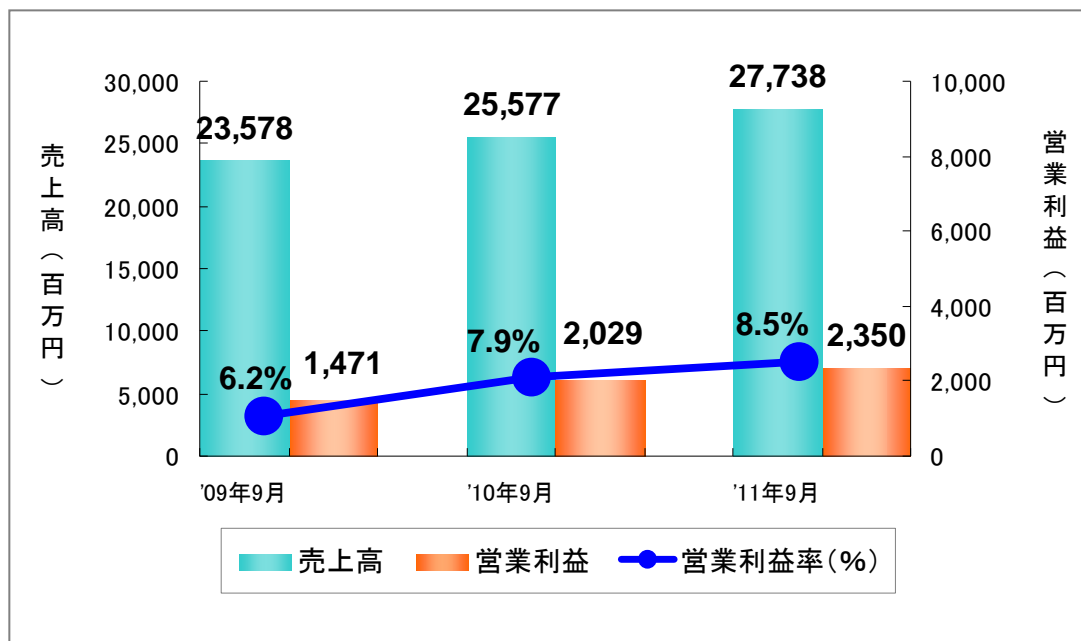


5. セグメント別業績 (国内フォークリフト事業)

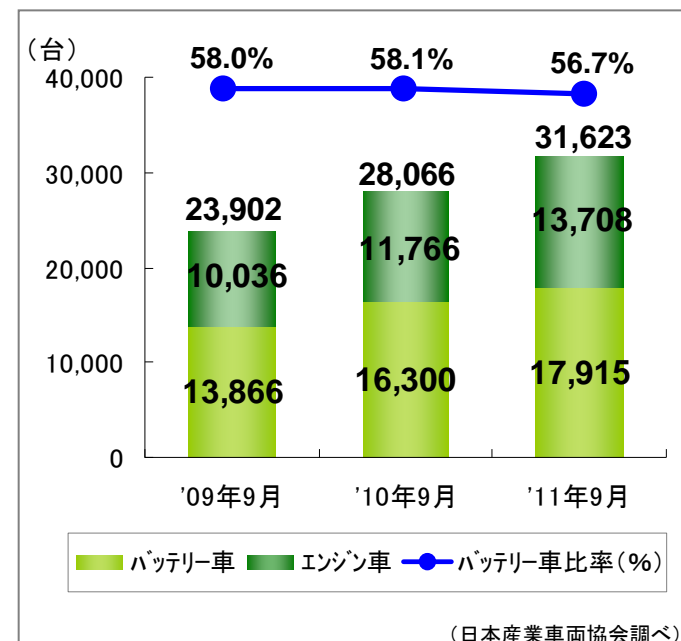


国内フォークリフト事業は好調

売上高／営業利益



国内市場



(日本産業車両協会調べ)

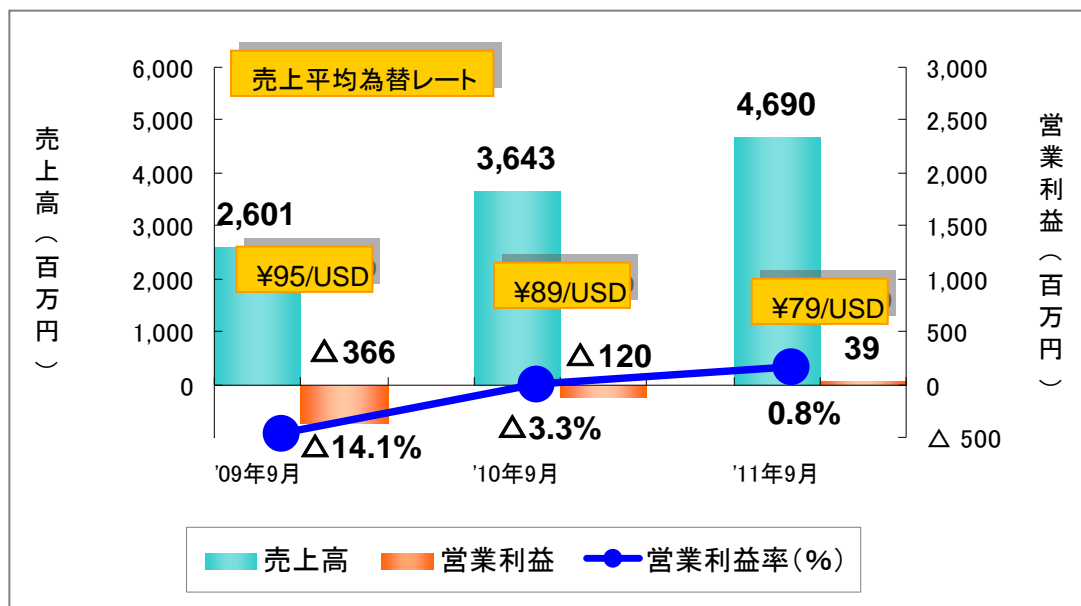
- ◆ 設備投資の下げ止まり・復興需要を反映して、新車販売の増加に加えてサービス・中古車販売なども堅調に推移し、売上高27,738百万円(前年同期比+8.4%)、営業利益2,350百万円(同+15.8%)と増収・増益

6. セグメント別業績 (海外事業)

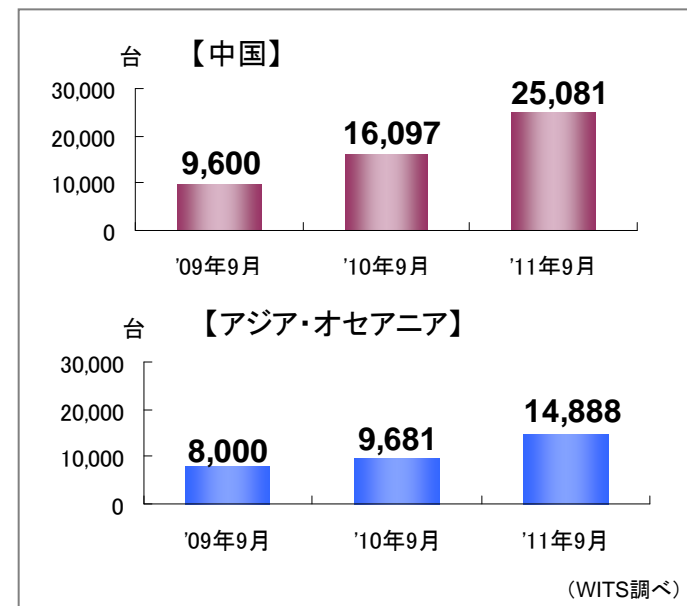


海外事業が黒字化

売上高／営業利益



海外市場 (バッテリーフォークリフト)



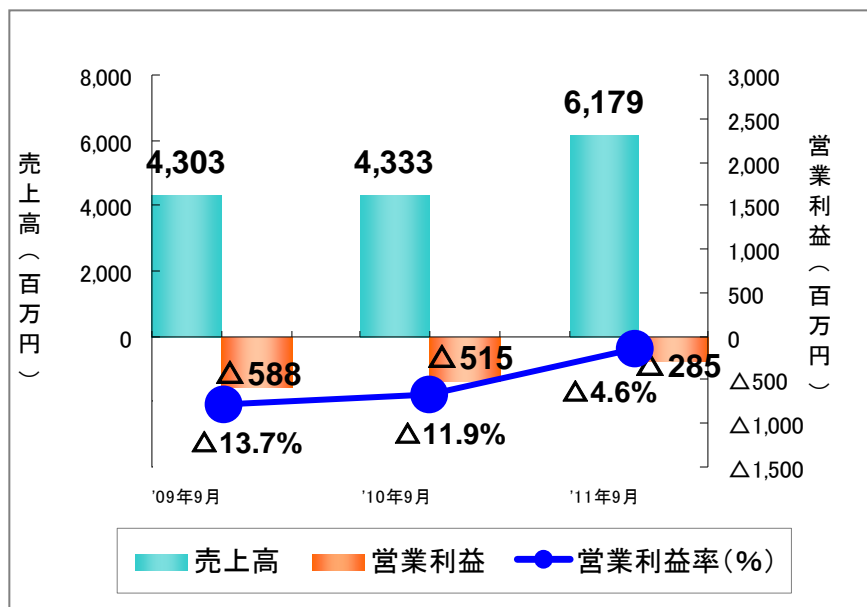
- ◆ 円高により輸出採算が大幅に悪化したものの、新興国市場の拡大による売上・利益増がそれをカバーし、売上高4,690百万円(前年同期比+28.7%)、営業利益39百万円(同159百万円の改善)と増収・増益

7. セグメント別業績（物流システム事業およびその他事業）



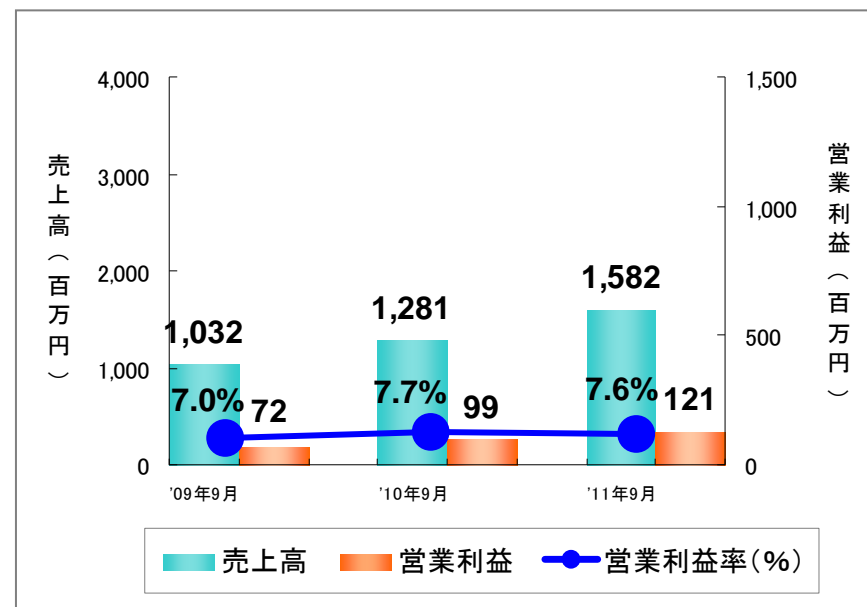
物流システム事業の営業損益改善

物流システム事業



- ◆ 堅調な設備投資により売上高6,179百万円（前年同期比+42.6%）の増収となったが、約285百万円の営業損失を計上（前年同期比230百万円の改善）

その他事業（巻取機等）



- ◆ 巻取機・環境機器が好調に推移し、売上高1,582百万円（前年同期比+23.5%）、営業利益121百万円（同+22.2%）と増収・増益

8. 有利子負債・自己資本

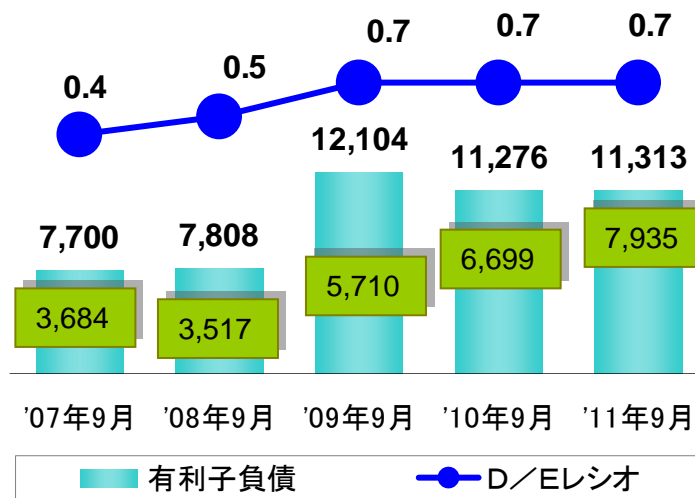


総資産増加により自己資本比率低下

有利子負債・D/Eレシオ

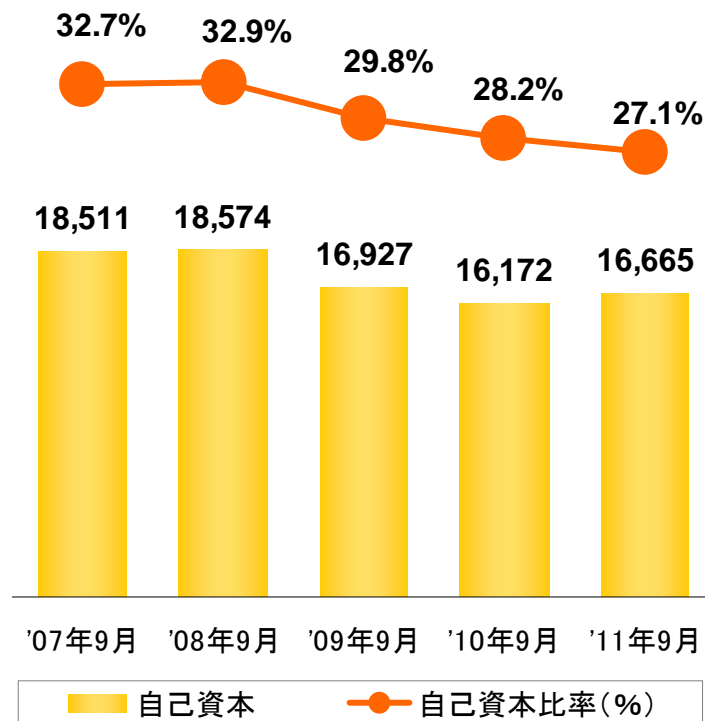
(単位:百万円)

うちリース・レンタル残高



自己資本・自己資本比率

(単位:百万円)



9. 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



リース・レンタル車両への投資を拡大

単位:百万円

	2010年9月期	2011年9月期	前期比増減
営業活動による キャッシュ・フロー	1,750	2,755	1,005
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,882	△2,261	△379
フリー キャッシュ・フロー	△132	494	626
財務活動による キャッシュ・フロー	△350	△1,164	△814

10. 2012年3月期通期業績見通し



(単位:百万円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期 予想	前期比増減
売上高	71,918	79,000	+7,082
国内フォークリフト事業	52,005	55,050	+2,994
海外事業	7,993	9,200	+1,206
物流システム事業	9,047	11,590	+2,543
その他事業	2,821	3,160	+339
営業利益	1,111	1,800	+689
営業利益率	1.5%	2.3%	+0.8point
経常利益	1,163	1,900	+737
経常利益率	1.6%	2.4%	+0.8point
当期純利益	421	1,000	+579
設備投資額	4,418	4,690	+272
減価償却費	3,342	3,460	+118

11. 通期計画達成のための課題と対応

国内フォークリフト事業

- ・復興需要と設備投資下げ止まり
- ・市場価格は依然厳しい状況が継続



- ・国内販社統合シナジー効果の最大化
- ・新型車投入を含め拡販に注力
- ・コストダウンなど採算改善活動を推進

海外事業

- ・新興国市場は堅調な成長が継続
- ・円高(¥76/USDレベル)の継続



- ・販社統合、ワークショップ開設効果の活用
- ・需要増に対応する生産能力を確保
- ・最適生産・最適調達の追求

物流システム事業

- ・さらなる損益改善
- ・海外企業からの受注・引合い増加



- ・原価低減・固定費低減活動を継続しつつ
売上増による増益を目指す
- ・海外案件への支援体制強化

その他事業

- ・太陽光発電・Li-ion関連需要はやや減速
- ・海外進出案件の増加



- ・既存業種、プラント案件の需要掘り起こし
- ・ラインメーカー・海外事業部門との連携強化
- ・環境機器のさらなる拡販

12. 中期経営計画(連結数値計画)と実績



売上高は順調に推移したが営業利益面で課題を残す

為替変動(計画: ¥83/USD → Q2実績: ¥79/USD)が、輸出製品(輸出部品・コンポ-ネントを含む)採算に大きく影響

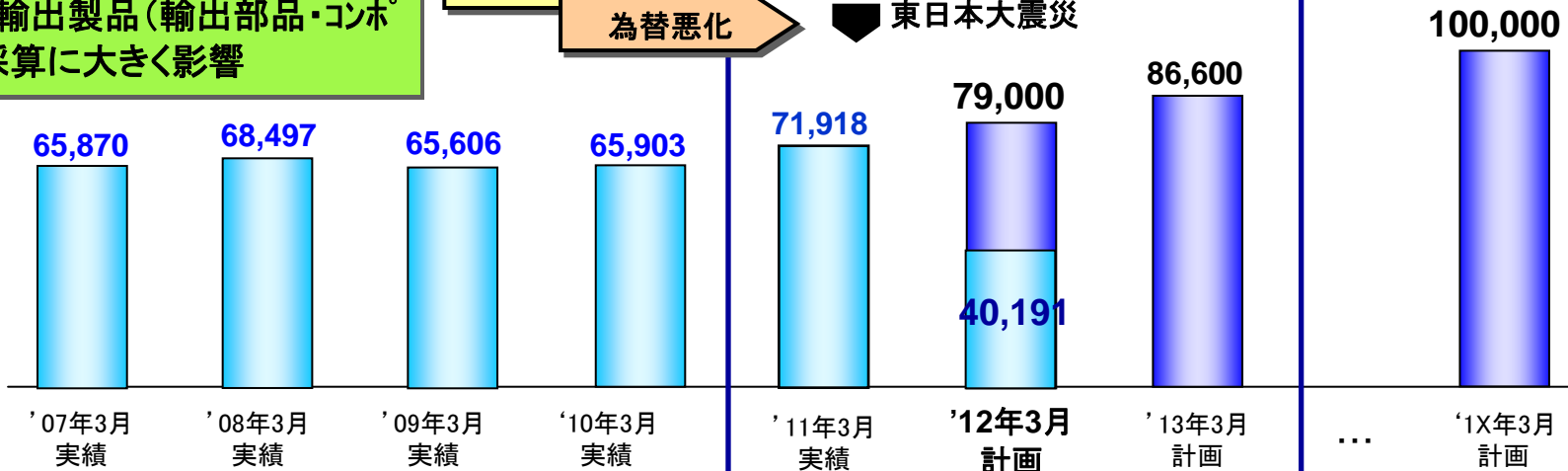
世界同時不況

為替悪化

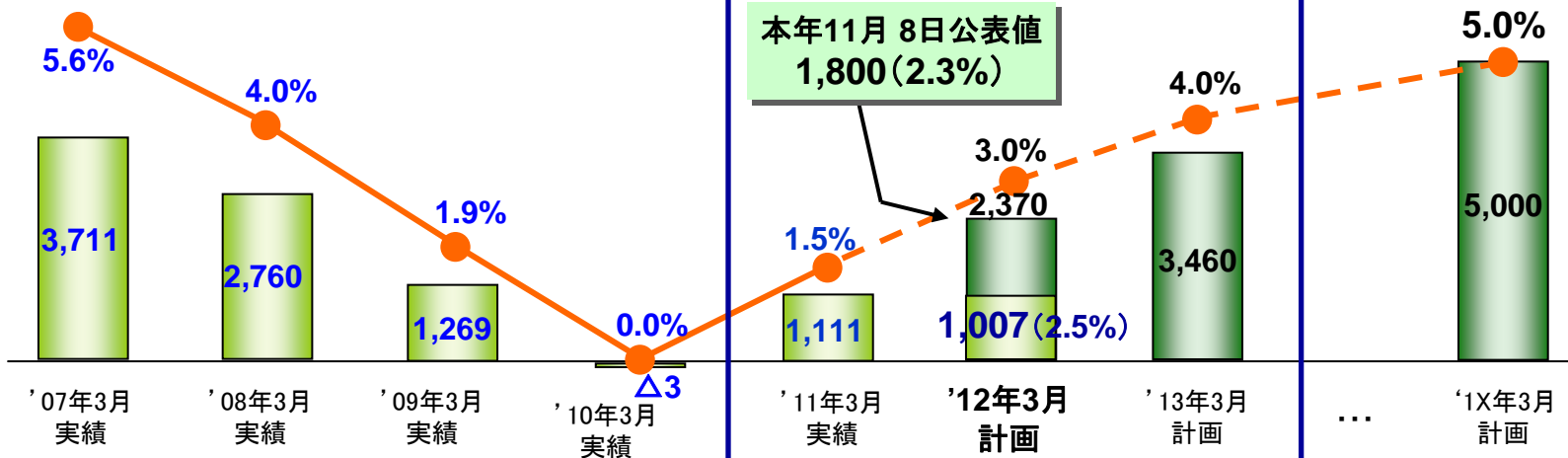
112中期経営計画

東日本大震災

売上高
(百万円)



営業利益率



営業利益
(百万円)

海外事業

タイにフォークリフト生産工場建設 ～ 海外生産能力増強

<タイ工場建設の狙い>

- ・中国・アジアでの需要拡大に対応
- ・新興国向け生産能力の増強と物流効率化
- ・コスト競争力の確保と為替リスク対応



タイ工場建設により、上海工場と合わせて、中国・アジア・オセアニア・ロシア・中東などへの供給をカバーできる体制が確立

※本件概要については、9月8日にニュースリリースを発行しています。



タイ工場全景(イメージ図)

<立地データ>

建設予定地:	ラヨーン県・アマタ シティ工業団地内
土地面積:	約42,000㎡
稼動予定時期:	2013年4月
初年度生産台数:	2,500台

【タイにおける洪水への対応状況】



★・・・NAT社関連施設

【当社拠点の現状】

- ①NAT社* 本社／②ワークショップ／③アユタヤデポは被災地域周辺に展開しているものの、**被害なし**。
 - ④チョンブリデポ及び⑤タイ工場建設予定地は被災地より遠隔のため、**被害なし**。
- * NAT社: NICHYU ASIA (THAILAND) Co., Ltd.

【当社の対応】

被災されたお客様のフォークリフト・物流機器の復旧に全力を挙げて取組み、微力ながら被災地復興支援に貢献してまいります。

被災者の方々におかれましては、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

海外事業

中国販売会社のサービス機能を強化

- ・機能拡充による収益基盤強化
- ・中国直系販売会社再編 * シナジー効果の最大化
- ・均質なサービスの提供によるお客様バックアップ体制の強化



・蘇州ワークショップの開設・運営

- 上海ワークショップ(2010年開設)と併せ、より幅広いサービス対応が可能に
- 2012年:天津、2013年:広州にも開設を計画

・上海部品センター設立

- 部品オペレーションの集約・管理強化

* 中国直系販売会社再編: 上海、天津、深圳の3社を上海に統合(2011年9月)

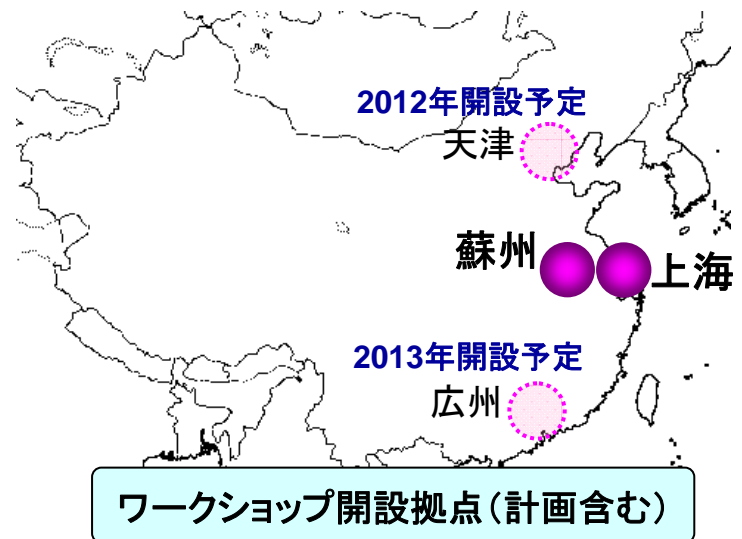


写真: 蘇州ワークショップ 17

国内フォークリフト事業

関西及び中部国際空港向け トーイングトラクター を受注

- ・空港内で航空貨物コンテナを積載した台車を牽引する**トーイングトラクター**は国内ではエンジン式が主流。
- ・ニチュは、独自の技術でエンジン車同様のローシルエット型**バッテリー・トーイングトラクター**を開発。
- ・現在、国内の空港は**エコエアポート*1**を推進しており、今後の販売増加が期待される。

* 1: 国土交通省航空局主導の空港環境の保全施策



写真: NTF1800(定格けん引重量: 25トン)

物流システム・その他事業

包装資材生産関連システムを一括受注

・三宝化成工業(株)殿で、ニチユ独自のシステム採用による自動化工場「松江工場」が稼動。

* 三宝化成工業(株): 食品業界向け
各種包装資材・包装機械 製造・販売



松江工場外観

・採用された機器・システムは下記の通り。

- | | |
|------------------------|-------|
| 2軸ターレットワインダー (巻取機) | ・・・2基 |
| トラバーサー (軌道搬送車) | ・・・1台 |
| キャスパック (自動倉庫) | ・・・4基 |
| ムジンカーマルチ (無人搬送車) | ・・・2台 |
| ラックフォークオート (無人フォークリフト) | ・・・1台 |

シルバー世代も念頭に置き「作業者に重いものを持たせず安全に」をコンセプトに「**Factory Art Museum**」(魅せる工場)を実現した。

プラスチックシートの巻取り工程



2軸ターレットワインダー

原材料・資材・製品・金型の入出庫



キャスパック&トラバーサー

クリーンルーム内の原材料・製品搬送



ラックフォークオート

注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

お問い合わせ先

日本輸送機株式会社
総務課 松永、小泉

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1
TEL:075-951-7171 FAX:075-955-3797
<http://www.nichiyunet.co.jp>